

ポプラ社
新井文彦／写真・文
『もりのほうせき ねんきん』

K473



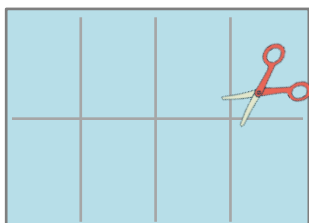
ねんきんは、ねばねばのか
らだどうごきまわり、ごぶご
ぶになつたり、あしがはえた
り、形がどんどんかわるふし
きないきものです。
黒くてびかびか光っている
ものもあれば、赤くてとげと
げしているものもあって、ほ
うせきのようにきれいです。

小泉るみ子／絵 文溪堂
<すのきしげのり／作
『まかせて！母ちゃん！』

K913



アキヨシは、大けがで入
いんした大工の父ちゃんを
げんきにするため、母ちゃん
とこっそり小屋をつくる
ことにしました。
母ちゃんといっしょにの
こぎりで木をきってみまし
たが、なかなかまっすぐきれ
ません。やっばりふたりだけ
じゃむりなのかな。



紙を8つにおって、半分にひろげて
ね。てん線のところに、ハサミで、
きりこみをいれて、くみたてれば、
本のかたちになるよ！

編集・発行 富山市立図書館

富山市西町5番1号

電話 076-461-3200

としょかんのホームページもみてね！



2018年
7・8月号



えほん『のどぼとけさん』



尾崎美紀／作
ささきみお／絵
ひさかたチャイルド

ひるねちゅうのじいちゃん
ののどのおくに、ちっちゃな
「のどぼとけさん」がいるのを
見つけました。ひとのやくにた
つことをたくさんすると出て
くる、ほとけさまなんだって。
ぼくは、いっしょにそとへでか
けることにしました。

えほん

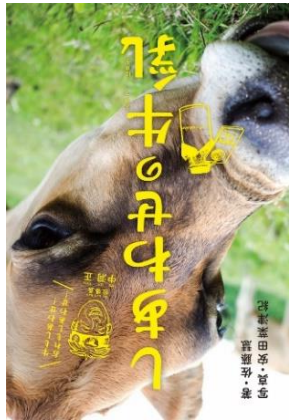
『ツリーハウスがほしいなら』



カーター・ヒギンズ／文
エミリー・ヒューズ／絵
千葉茂樹／訳
ブロンズ新社

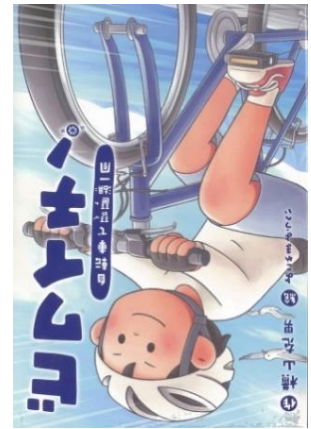
木の上のひみつきちで、ど
んなことができるかな。えだ
にロープをむすべば、ブラン
コができます。小さなとしょ
かんをつくって本をよむの
も、たのしそうです。おなか
がすいたら、木のみきから出
るシロップをなめてみよう！

多くの牧場では、牛たちは
せまい小屋でかわれ、人工的
なえさを食べています。とこ
ろが岩手県のかなほら牧場
の牛たちは、広い山の中で自
由に草を食べ、好きな場所で
ねて、ストレスなく元気にす
えさとなる草が育つための
ひりょうに変わります。ここ
の牛乳を飲んだ人は「こんな
においしい牛乳は他にいな
い！」と言います。

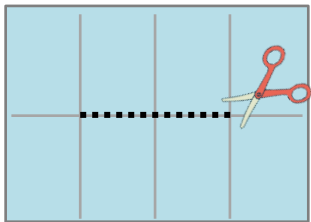


K641 『あわせの牛乳』
牛もしあわせ！おれもしあわせ！
佐藤慧／著 安田菜津紀／写真
ポプラ社

自転車で琵琶湖を1周す
る、ピコイチ。斗馬は友だち
の一本をさそって、ちようせ
んすることになりました。1泊2
日で200kmをめぐります。小
学生の体力では、むずかしい
日程です。
しつかり計画を立て、練習
を重ねて、いざ出発。でも、
とちゆうで足が痛くなり、お
なかがへってきました。さら
に、斗馬の自転車がこしょう
してしまいます。



K913 『ピコイチ！』
自転車で琵琶湖一周
横山充男／作 たこやまどうへい／絵
文研出版

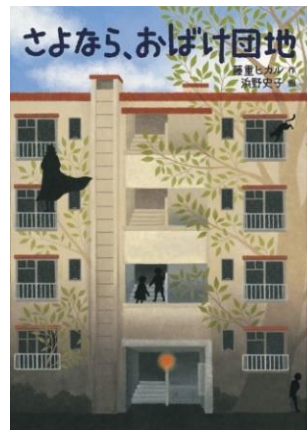


紙を8つにおって、半分にひろげて
ね。てん線のところに、ハサミで、
きりこみをいれて、くみたてれば、
本のかたちになるよ！

編集・発行 富山市立図書館
富山市西町5番1号
電話 076-461-3200
としょかんのホームページもみてね！



2018年
7・8月号



K913
『さよなら、おばけ団地』
藤重ヒカル／作 浜野史子／画
福音館書店

結衣は、おばけが出ると
いうわさがある、古い団
地の奥の広場へ行ってみま
した。今はだれもないはず
なのに、小さな子どもた
ちが集まって泣いていま
す。チョウがバスにひかれ
て死んだと言うのです。そ
こで、いっしょに花びらを
あつめてチョウをうめるこ
とにしました。ところが、
つむじ風がふいたとたん、
子どもたちは消えてしま
います。